



## 第十五期 部員・本部スタッフ研修 開催報告

十一月八日・十一月二十七日・十二月十日・十二月十四日の四次にわたり「第十五期 部員・本部スタッフ研修」を本部第七・八・九母屋で開催しました。

立教百八十二年九月二十五日に発足した第十五期学生担当委員会は、委員二十九名、部員二十九名、本部スタッフ八十四名で構成されており、学修や春学などの行事の運営、教区、直属での育成行事への出向などをしております。今年はそれらの行事がないまま一年という歳月がたつてしましました。そこで、今一度意識の統一を図るべく本研修を開催する運びとなりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大中の開催ということもあり、一堂に会しての開催は断念し、参加人数を分散しつつ、あらゆる感染症対策をした状態で開催いたしました。

プログラムは、学修でも用いられるようなグループワークをはじめ、任命を受けてからの一

年間の通り方、コロナを通して感じたことなどについてのねりあい、そして茶谷委員長の講話を聞きました。

茶谷委員長は「お道の人材育成の鍵は、私たち一人ひとりのにをいがけ、おたすけの心から始まります。学生と接するときは、にをいがけをさせてもらっているという気持ちが大切です」、また「何をするにしても教祖のおたすけということを心の中心に置いて活動すれば、それすべてが、にをいがけとなり、おたすけをさせてもらえる機会につながる。要是そういう機会を頂けるまで実践を続けることが大切」と述べました。

参加者は、この研修で学生担当委員会としての自覚を改めて抱くとともに、これから通り方を見つけるきっかけを得ることができました。

青空

「教会の月次祭で僕がお手を間違えると、僕のお手を見ている信者さんも間違えてしまうのは申し訳ないから、毎日、十二下りで、をどりをしてるねん」

私が大学生の頃、初めて参加した学修で同じ班の友人から聞いた一言です。その当時、お道のことに無関心だった私は、同じ世代の友人が信者さんへのおたすけの心を持つて毎日十二下りを勤めている姿に衝撃を受けました。「よう分からんけど、親神様ってそんなにすごいんや」と心がぐっと動いたのを鮮明に思い出します。この学修でのやりとりは親神様から私へのプレゼントでした。改めて、おちばで過ごす時間は尊いものだなと感じます。

今、学修をはじめたくさんの育成行事が中止となりました。しかし、「おちばは変わらずにあるなあ」と思うと、「今の学生の子たちにも変わらず声を掛けることが大切だと感じます。ささいな一言しかできませんが、一声掛けていきたいと思います。祈りを込めて「親神様からのプレゼントが届きますように

十一月二十一日、南左第一棟 天理教教庁四階講堂を会場に「第五十八期天理教学生会委員長選挙」が行われ、運営委員十七名が出席し、傍聴者十六名が訪れました。今回は二名の学生が立候補しました。立候補者による所信表明の演説が行われた後、運営委員による活発な質疑応答が行われ、学生たちは立候補者の答弁に真剣に耳を傾けました。投票の結果、天理大学二年生の橋本善希さん（蒲生大教会・三重教区）が次期委員長として選出されました。

橋本さんは「『一人ひとりが喜べる学生会』を目指し、学生が喜んでいる姿を周囲に映していきたい」と述べました。また続けて、「その実現のために、コミュニケーションを通して人との関わりから喜びを感じ、ひのきしんを通して身体を動かす喜びを感じる。また、『かしもの・かりもの』

の理を通して親神様から身体をお借りしている喜びを感じる。そして、一人ひとりが学生会を好きになり、楽しめるようにしたい」と決意を述べました。

学生一同は、次期委員長を芯とし、来春から始まる第五十八期天理教学生会の一層の充実を誓いました。



## Web〈Happist〉1月更新予告

URL:<https://happist.net>

※内容は一部変更になる場合があります。

- ・逸話篇にまなぼう
- ・ちょっとだけいい話

**清水 慶政** (兵神大教会長)

**山口 ふい** (ひとすじ寮 幹事)

**川口 智子** (学生担当委員会 部員)

学生に手渡しできるリーフレット  
ハッピスト ノット ネット  
**HAPPIST [NOT] NET No.3**  
例会資料としてお配りしています。追加のご希望は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

明日につながる学生WEBSITE   
**Happist**